

この季節は様々な感染症が流行します。
皆さんも日々の生活の中で、感染症予防に
気を配られていると思います。
その中でも今回は昨年より開始しております
RS ウィルスワクチンについてお話します。

2025 February ジュンマミーズ 倶楽部 vol.88

01 RS ウィルス感染症って どんな病気？

RS ウィルスに感染することによって起きる
呼吸器の感染症です。新生児や乳幼児では
ウィルス性の風邪の主な原因のひとつであり、
ほぼ全てのお子さんが2歳までに感染すると
されています。年齢を問わず何度も感染するため、
生まれたばかりの赤ちゃんから高齢者まで、
幅広い年齢層で感染するといわれています。

02 どんな症状？

約70%の乳幼児では、上気道炎（発熱・鼻水）の
症状が数日続いた後、快方に向かうと報告されて
います。30%の乳幼児ではその後、細気管支炎や
肺炎など下気道炎を引き起こして重症化し、
強い咳や喘鳴（ぜんめい）、呼吸困難などの症状が
みられるようになります。

小さなお子さん(新生児や乳幼児)が 感染すると重症化する可能性があります

生後6カ月未満の赤ちゃん、
小さく生まれた赤ちゃん（早産・低出生体重児）や、
心臓や肺の基礎疾患、免疫不全、ダウン症のあるお子さん
は特に注意が必要です。

03 どんな対策を すればいいの？

RS ウィルスは、飛沫感染と接触感染の2つの方法で
感染します。基本的な感染対策は、
手洗いや手指消毒、換気、マスクの着用
です。赤ちゃんや乳幼児と一緒に過ごすご家族の方は
気を付けてあげてください。

赤ちゃんが生まれる前にできること があります

妊婦さんに
接種します

RS ウィルスワクチン「アブリスポ」

妊娠中のお母さんが接種し、お腹にいる赤ちゃん
に胎盤を通じて抗体を移行する（母子免疫）ことで、
生後数カ月の間、赤ちゃんをRS ウィルス感染から
守る予防効果が期待されます。

接種時期
妊娠 28 ~ 36 週
接種回数 1 回
費用 33,000 円

当院でも
接種できます

